

2018年度 セミナー委員会 活動報告

2019年3月10日

担当：小笠原、背戸、丹羽

1. セミナー企画・運営準備

- 1) 平成30年3月2日役員会において、教育講演・交流集会内容を、平成29年度セミナー後に実施したアンケート結果をもとに、平成30年度セミナーについて企画を行った。
- 2) セミナー担当者が上記アンケート結果を元に3つの企画案を提案し、役員会で1つの企画案に絞りこみ、実施にむけての運営準備を行った。

2. セミナー開催

- 1) 日時：平成30年9月15日（土）
- 2) 場所：ニプロ iMEP（滋賀県草津市）
- 3) 内容：

教育講演「行政活動からみた救急医療施策について」

厚生労働省 医政局地域医療計画課

救急・周産期医療等対策室 救急医療対策専門官

野口 航氏

特別講演「認定看護師制度の再構築」

日本看護協会看護研修学校 認定看護師教育課程長

溝上 祐子氏

交流集会「特定行為研修後の活動 ～役割、実践内容、課題～」

3. セミナー評価

- 1) アンケート集計（回収率：46.5% 46名／参加者：99名 前年比較-54名）
→詳細は、別送の“2018ブラッシュアップセミナー アンケート結果”を参照
- 2) ブラッシュアップセミナー評価
 - ・認定看護師経験年数1～4年目の参加者の人数、全体に占める割合がともに減少した。教育講演のテーマが、この年代の認定看護師にとって難しかったのか、興味を示す内容でなかったのか、アナウンスが不十分であったのか検討が必要。
 - ・開催時期：参加者の72.8%が「適切」「まあ適切」と回答。（前年比7.6%↑）
 - ・会場：参加者の56.9%が「適切」「まあ適切」と回答。（前年比9%↓）
 - ・資料：参加者の54.6%が「適切」「まあ適切」と回答。（前年比6.6%↑）
 - ・満足度：参加者の68.2%が「適切」「まあ適切」と回答。（前年比3.1%↑）
 - ・交流集会の役立ち度：参加者の63.6%が「役立つ」「まあ役立つ」と回答。（前年比11.6%↓）
 - ・教育講演・特別講演の内容理解：理解度を5段階評価で調査したところ、上位評価5及び4と回答したものが参加者の79.6%となった。（前年比12.1%↑）
 - ・教育講演・特別講演の役立ち度：役立ち度を5段階評価で調査したところ、上位評価5及び4と回答したものが参加者の81.8%となった。（前年比10.4%↑）

以上

2018年度 広報委員会 活動報告

2019年3月10日

担当：伊藤敬介、田口裕紀子

1. 各種関連セミナーの案内
会員から依頼を受けたセミナー等のご案内をメールリストや Facebook を用いて会員に発信した。
2. 会員の募集
日本救急看護学会学術集会の際に当会のチラシを設置した。
3. 認定看護師教育機関修了生への祝電発送
下記教育機関の修了式に合わせて祝電を発送した。
 - 東海大学看護師キャリア支援センター（修了式：3月26日）

以上

2018年度 事務局 活動報告

2019年3月10日

担当：斉藤、大隅

1. 会員管理

1) しくみネットでの会員登録の完全移行が完了した。

2. 総会・セミナー準備

1) 平成30年度（2018年度）、日本救急看護認定看護師会役員会及び総会に対する役員会公文書の発送手続きを行った。

2) 平成30年度（2018年度）ブラッシュアップセミナーの講師・シンポジストに対し公文書の発送手続きを行った。

3) 平成30年度（2018年度）日本救急看護認定看護師会総会とブラッシュアップセミナーで使用する配布資料用の準備を行った。

以上